

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	11901	科名	服飾研究科	単位	21単位
科目コード	000200	科目名	服装造形	授業期間	前期・後期

担当教員(代表)：玉田 恵美子

共同担当者：尾花 京子

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

- ・衣服製作の基本的な専門知識を学び、各アイテムの基本から応用まで製作の理論とテクニックを短期間で学ぶ。流行や市場調査から各自コンセプトを設定し、製作するアイテムのデザイン発想のプロセスを体験する。
- ・立体裁断の意味・知識を理解させ、基本アイテムのドレーピングテクニックと手順を実技演習により習得させる。

服装造形 論	前期	2単位	後期	2単位	000200
服装造形 デザイン	前期	1単位	後期	1単位	000300
服装造形 パターンメイキング	前期	2単位	後期	2単位	000500
服装造形 ソーイング	前期	4単位	後期	4単位	000600
服装造形 ドレーピング	前期	1単位	後期	2単位	000800

1. 服装造形の基礎	5コマ(前期)	概説・用具・採寸・シルエット撮影
2. 縫製の基礎	5コマ(前期)	手縫い・ミシン縫い・ロックミシン縫い
3. パターン製作の基礎	10コマ(前期)	文化式成人女子原型・パターン操作法
4. 体型研究	11コマ(前期)	体型研究
5. 一重スカート	23コマ(前期)	実物製作・レポート製作・着装発表会
6. 立体裁断基礎	17コマ(前期)	スカート各種・胸ぐせダーツバリエーション(文化ヌードボディ使用)
7. ブラウス・シャツ	34コマ(前期)	実物製作・レポート製作・着装発表会
8. パンツ	27コマ(後期)	実物製作・レポート製作・着装発表会
9. 立体裁断 ブラウス	11コマ(後期)	ブラウス・衿各種(文化ヌードボディ使用)
10. ジャケット(スーツ)	51コマ(後期)	実物製作・レポート製作・着装発表会
11. ワンピース	46コマ(後期)	実物製作・レポート製作・着装発表会
12. 立体裁断 ジャケット	10コマ(後期)	三面構成のテーラードジャケット(工業用ボディ使用)
13. 自由研究	23コマ(後期)	実物製作又はレポート製作・プレゼンテーション発表

評価方法・対象・比重

- ・服装造形 論……筆記試験
- ・服装造形 デザイン……各アイテムデザイン表現・創作力、コーディネート表現力
- ・服装造形 パターンメイキング……各アイテムのパターンメイキングの理解度、レポート構成力
- ・服装造形 ソーイング……各アイテムの実物製作における技術力
- ・服装造形 ドレーピング……各アイテムのドレーピング理解度、実技試験

主要教材図書

文化ファッション大系 服飾造形講座 ①服装造形の基礎 ②スカート・パンツ ③ブラウス・ワンピース
④ジャケット・ベスト アパレル生産講座 ③立体裁断基礎編 ⑤工業パターンメイキング

参考図書 gap COLLECTIONS

その他資料 実物標本・参考標本・部分標本

記載者氏名 玉田 恵美子

科コード 11091	科名 服飾研究科	単 位	1 単位
科目コード 005710	科目名 量産技術実習 I	授業期間	後期（集中）

担当教員(代表)：成田 邦子

共同担当者：上野 和博、宮澤 国博、佐藤 明彦
井戸川 倫也、加藤 紀人

教育目標・レベル設定

シャツの製造実習（一人が全行程を賄う“丸縫い作業”）を通して、シャツ生産指示書（仕様書、指図書、工程分析表、作業標準書）の役割（生産時間の短縮や品質の均一化や作業者の安全 等）について理解を深めることを目標とする。また、工業生産機器の取扱いと安全な基本操作についても学習し、限られた授業時間（納期：D）の中で、出来栄え（品質：Q）にバラツキが生じないように、量産的な考え方の重要性も認識させる。

授業概要

I. ガイダンス・・・実習の目的と内容説明（授業日程、シャツ仕様、）（1コマ）

II. 縫製準備・・・縫製前の裁断実習（1コマ）

- ①延反
- ②自動裁断機（CAM）裁断
- ③芯貼り
- ④表裏の識別シール貼り
- ⑤個人仕分け

III. 基礎練習・・・縫製機器（ミシン・アイロン）の基本操作（3コマ）

- ①基礎練習（工業用本縫いミシン、縁かがり縫いミシン、アイロン、バキュームボード）
- ②部分縫い（直線・曲線縫い、短冊あき）
- ③特殊機器見学（自動玉縁縫機、パターンシーマ、すくい縫いミシン、電子根巻きボタンつけミシン、エッジコントロールシーマ）

IV. シャツ縫製・・・シャツ縫製実習（8コマ）

- ①部品工程（身頃づくり、衿づくり、袖づくり 等）
- ②組み立て工程（衿付け、袖付け 等）
- ③特殊ミシン（眠り穴かがりミシン、オートフィーダーつきボタンつけミシン）

評価方法・対象・比重

出席状況（40%）＋作品の出来栄え（60%）

主要教材図書

「工業用ミシン・アイロンの基本操作と知識」

参考図書

なし

その他資料

「シャツ生産指示書」

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` 11901	科名	服飾研究科	単 位	2単位
科目コード` 400210	科目名	服飾デザイン論 I	授業期間	通年

担当教員(代表) : 天野豊久	共同担当者 :
-----------------	---------

教育目標・レベル設定など
 教育目標：服飾デザインにおける色彩、形態、コンポジション、ファッションイメージについての講義及び演習を通して知識と技術を身につけ、創造力、分析力を養うことを目標とする。
 レベル設定：色彩、形態、コンポジション、ファッションイメージのセオリーについて理解した上で、テーマに沿ったビジュアル表現ができる力を有する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

1. 服飾デザイン概論	① デザインとは	デザインとは何か デザイン嗜好 「よい」デザイン	〈講義および演習 6コマ〉
2. 色彩	① 色彩の基礎	色彩の体系／三属性とトーン	〈講義および演習 10コマ〉
	② カラーコーディネート	色相を基準にしたカラーコーディネート トーンを基準にしたカラーコーディネート ファッションカラーコーディネート 色彩構成(グラデーション／セパレーション)	
3. 形態／コンポジション	① 形態の構成要素	点、線、面	〈講義および演習 8コマ〉
	② シルエット	直線的ー曲線的／フィットールーズ	
	③ コンポジション	ドミナント／セントラリティ シンメトリー／アシンメトリー リズム	
4. ファッションイメージ			〈講義および演習 2コマ〉
5. 服飾デザインの展開	コンセプト、テーマの策定 アイデアとラフスケッチ 服飾デザインの提案		〈講義および演習 4コマ〉

評価方法・対象・比重
 S・A～C・F評価 評価基準：学業評価70% 授業姿勢30%

主要教材図書
 文化ファッション体系 改訂版・服飾関連専門講座2『服飾デザイン』(文化服装学院編／文化出版局)

参考図書 特になし

その他資料 Color Chart, ベーシックカラー140

記載者書名欄 天野豊久

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11901	科名 服飾研究科	単 位	2単位
科目コード 500810	科目名 ファッションデザイン画 I	授業期間	通年

担当教員(代表) : 金谷 容子	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 ファッションデザイン画は、人体のプロポーションと衣服のバランスを把握し、デザインの構造を明確に描く事が出来るよう基礎技法から幅広い画材研究まで習得し、各自のデザインワークにつなげていく事を目標とする。

1. 人体のプロポーション(8頭身)【2コマ】
2. ポーズ 身体の動き流れをつかむ(支脚・遊脚)【2コマ】
各種ポーズの描き方 ・顔手脚の描き方
3. 肌の色とシースルー素材 水彩絵の具による半透明素材の練習とレース素材【3コマ】
4. 顔・手・脚 【2コマ】
5. 着装表現 身体の動きと衣服の関係(しわ 陰影 衣服の構造線の描き方)【3コマ】
6. アウトライン仕上げ線の描き方(グラフィックペン・色鉛筆・筆ペン)【1コマ】
7. アイテム図 各種アイテム(フロントスタイル&バックスタイル)【2コマ】
8. 素材表現(特徴のある素材を描く)【3コマ】
光沢感・毛並・凹凸感など(各種画材説明)
9. 連続模様 揺れ動く布地を観察(ストライプ・チェック柄の動き)【2コマ】
10. デザイン発想 創作デザインと表現力の強化【3コマ】
11. 修了制作 イラストボード・校内ファッション画展にむけて作品制作【5コマ】
12. 1年間のまとめ【1コマ】

評価方法・対象・比重
 ① S~C・F評価
 評価基準：学業評価80% 授業姿勢20%

主要教材図書 文化ファッション大系服飾関連専門講座④ファッションデザイン画・補助プリント
 参考図書 ファッション雑誌など
 その他資料

記載者氏名 金谷 容子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11901	科名 服飾研究科	単位	1単位
科目コード 400400	科目名 西洋服装史	授業期間	半期

担当教員(代表)： 朝日 真	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など
 古代から現代までの時代背景、美術を基本におきながら服飾の流れについて学ぶ。また現代以降は各時代のデザイン様式、映画、写真、音楽の歴史変遷にも触れ、なおいっそうのファッションへの理解を深める。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- 1、オリエンテーション、世界の民族衣装を見ながら、人間とファッションの関わりをみる。
- 2、古代の美術と服飾
- 3、中世の美術と服飾
- 4、近世ルネサンスの美術と服飾
- 5、近世バロックの美術と服飾
- 6、近世ロココの美術と服飾
- 7、19世紀の美術と服飾(1)
- 8、19世紀の美術と服飾(2) C. F. ワースとフランスモード産業
- 9、1900年代、ベルエポックとアール・ヌーヴォー
- 10、1910年代、ポール・ポワレの時代
 1920年代、アールデコ、シャネル、ヴィオネの活躍
- 11、1930年代、シュールレアリスムとファッション、スキヤパレリ
 1940年代、戦争とファッション、ミリタリーファッション
- 12、1950年代、C. ディオールとニュールック、シャネルの復活
 バレンシアガとジバンシー、オードリー・ヘップバーンのシネマモード
 1960年代、ミニスカートの流行とマリー・クワント
 サンローラン、クレージュ、ピエール・カルダンの活躍、
- 13、1970年代、高田賢三、三宅一世ら日本人デザイナーの活躍
 パンク・ムーブメントとヴィヴィアン・ウエストウッド
- 14、1980年代、川久保玲、山本耀司の活躍、80年代のファッションの概観
 1990年代、マルジェラやガリアーノの活躍、90年代のファッションの概観

評価方法・対象・比重
 英字評価、レポート課題(60%)、出欠(40%)

主要教材図書 文化ファッション大系「西洋服装史」

参考図書

その他資料

記載者書名欄

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` 11901	科名 服飾研究科	単 位	1単位
科目コード` 600110	科目名 ファッションビジネス概論 I	授業期間	前期 ()

担当教員(代表) : 澤住 倫子	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

- ・ファッションビジネスの基礎知識の理解
- ・ファッション産業構造の把握と専門業務の把握による職種選択のための対応

<p>I. ファッションとビジネス (2コマ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 衣服とファッションの関係 2. ファッションの範囲と流行の把握 <p>II. ファッションビジネスの特性 (4コマ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ファッションの構成メンバー ファッション企業の分類 2. ファッションビジネスの変遷 戦後の社会経済とファッション消費の変遷 現代のキーワード 3. 現代のファッションキーワード <p>III. ファッション産業の構造 (3コマ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テキスタイル産業の構造 テキスタイル業界と産地 2. アパレル産業の構造について アパレル業界とアパレルメーカー 3. 小売業の構造について リテール業界と新業態 <p>IV. ファッションビジネスの実務 (3コマ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アパレル企業の業務と職種について 2. ファッション小売業の業務と職種 ファッション販売と顧客の購買行動 3. マーケティングの基礎知識 <p>V. まとめ (2コマ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ファッション産業今後の課題 2. 最新ファッションキーワード <p>※すべて講義</p>
--

<p>評価方法・対象・比重 テキスト提出 30% 出席 70%</p>

<p>主要教材図書 ファッションビジネス概論用プリント</p>

<p>参考図書 日経、織研新聞、繊維白書など</p>

<p>その他資料 教材専用プリント類</p>

<p>記載者氏名 澤住 倫子</p>

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` 11901	科名 服飾研究科	単 位	1単位
科目コード` 400300	科目名 服装解剖学	授業期間	半期(後期)

担当教員(代表) : 高見澤ふみ	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 人体の構造を骨格と筋を中心に解剖学的に理解させ、人体と衣服パターンとの関連を形態・機能面からとらえ、美的で機能的な衣服製作に発展させる。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション(講義内容の説明)	16	
2	人体の計測(計測法とデータ活用)、人体の構成と衣服(骨格)	17	
3	障がい者衣料について	18	
4	人体の構成と衣服(全身骨格)	19	
5	人体の構成と衣服(頭部)	20	
6	人体の構成と衣服(脊柱と衣服パターン)	21	
7	人体の構成と衣服(胸郭の構成)	22	
8	人体の構成と衣服(乳房と前身頃)	23	
9	人体の構成と衣服(上肢帯)	24	
10	人体の構成と衣服(上肢帯と自由上肢骨)	25	
11	人体の構成と衣服(上肢帯と下肢帯の違い)	26	
12	人体の構成と衣服(下肢帯と自由下肢骨)	27	
13	機能性大の衣服(機能性大の袖)	28	
14	機能性大の衣服(上肢の運動と動態計測からの衣服制作)	29	
15	ボディ開発(子供ボディ、青年男女、50代)	30	

評価方法・対象・比重
 S~C、F評価
 学業評価 : ノート…40%、確認テスト…20%、プリント…20%、平常点…10% 授業姿勢 : 出欠状況…10%

主要教材図書 服装解剖学ノート(文化出版局)

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 高見澤ふみ

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` 11901	科名 服飾研究科	単 位	1 単位
科目コード` 200310	科目名 アパレル素材論 I	授業期間	半期 (前期)

担当教員(代表) : 志村 純子	共同担当者 :
------------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 アパレルに使用される素材について、繊維・糸・布・仕上げ加工などを主に学び、これらの知識を他教科やさらに将来の職業に生かせるよう基礎知識を充実させてゆくことを目的とする。

1. アパレルと素材	講義	1コマ
<ul style="list-style-type: none"> ・アパレルに使用される素材 ・テキスタイルやアパレル業界について 		
2. 繊維	講義・実験	8コマ
<ul style="list-style-type: none"> ・繊維とは ・繊維の分類 ・繊維の鑑別 ・繊維各論 天然繊維：綿、麻、毛、絹の品種、生産国、性質など 化学繊維：再生繊維、半合成繊維、合成繊維の種類、性質など 		
3. 糸	講義・演習	2コマ
<ul style="list-style-type: none"> ・糸とは ・紡績糸とフィラメント糸と製造 ・糸の構造、太さ ・その他の糸：加工糸、複合糸、飾り糸など 		
4. 布	講義・演習・ビデオ視聴	3コマ
4-1 織物		
<ul style="list-style-type: none"> ・布地の分類 (種類) ・織物の製造、規格 ・織物の主な組織と特徴、生地 		
4-2 ニット (編物)		
<ul style="list-style-type: none"> ・ニットの性質、分類 ・ニットの主な組織と生地 		
		計 14コマ

評価方法・対象・比重
 学業評価 (テスト・提出物) 80%、 授業姿勢 (出席・提出状況・受講態度) 20% 割合で評価

主要教材図書
 ファッション体系「アパレル素材論」文化服装学院編、 「テキスタイル・ファブリック」

参考図書

その他資料

記載者氏名 志村 純子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	11901	科名	服飾研究科	単位	1単位
科目コード	400100	科目名	アパレル品質論	授業期間	後期

担当教員(代表) : 吉村 とも子	共同担当者 :
-------------------	---------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>アパレル製品の企画、設計、生産、流通における品質管理に関する知識の習得を目的とし、以下の①～③について講義、演習、実習を通して理解させる。</p> <p>①素材の特性を把握する為の物性試験や製品の実用性能を管理するための各種試験方法、評価法、基準値</p> <p>②アパレル製品の取り扱い</p> <p>③アパレル製品に関する法規制（表示関連、安全性関連）や規格</p>
--

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、</p>	
<p>1. アパレルと品質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アパレルに求められる品質 ・アパレルの製造工程管理 ・一般的品質管理の実施法、分析法 ・テキスタイルの品質評価法、および基準 <ul style="list-style-type: none"> ・染色堅牢度試験 ・寸法変化試験 	<p>講義 3コマ</p>
<p>2. アパレル製品の品質表示と法規制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・義務表示 家庭用品品質表示法 繊維製品表示規程 雑貨工業品表示規程 ・関連する法規制 不当景品類及び不当表示防止法 安全性に関わる法規制 製造物責任法 等 ・任意表示 	<p>講義 2コマ</p>
<p>3. アパレル製品の取扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐洗濯性：家庭洗濯、商業洗濯 ウエットクリーニングとドライクリーニング など ・特殊クリーニングについて ・保管 ・染色堅牢性 ・形態安定性 ・耐薬品性（しみ抜き実験） ・特徴のある素材とその取扱い方法 	<p>講義及び実習 4コマ</p>
<p>4. アパレル製品の保証とクレーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品の保障とクレーム対策 ・クレーム事例 	<p>講義 2コマ</p>
<p>計：15コマ</p>	

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>学業評価 80% 授業姿勢 20%とし、総合評価する</p>

<p>主要教材図書</p> <p>教科書：ファッション大系改訂版・服飾関連専門講座①「アパレル品質論」文化出版局発行</p>
<p>参考図書</p>
<p>その他資料</p>

<p>記載者書名欄</p> <p style="text-align: center;">吉村とも子</p>
--

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11901	科名 服飾研究科	単 位	1 単位
科目コード 400900	科目名 生産管理概論	授業期間	後期()

担当教員(代表) : 井戸川 倫也	共同担当者 :
-------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 アパレル産業の生産プロセスを、メーカー側の企画・設計業務と縫製工場側の製造業務双方から捉え、生産管理の基礎知識を習得することを目的とする。授業内容は縫製仕様書、加工指図書を通して生産情報の伝達・管理手法から、縫製工程分析表による生産計画及び生産ライン設計の仕組みと考え方、製造品質の定義と品質検査の実務内容、標準化のプロセスそして製造原価と価格の関係を講義と各種演習を通して学習する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I. ガイダンス (1コマ)

①生産管理の目的
 ②国内におけるアパレル産業の現状

II. アパレル産業の生産プロセス (2コマ)

①メーカーと工場の役割

III. 設計部門の業務と管理 (2コマ)

①縫製仕様書とは
 ②縫製仕様書作成

IV. 生産部門の業務と管理 (2コマ)

①加工指図書とは
 ②加工指図書作成

V. 製造部門の業務と管理 (3コマ)

①工程分析の目的
 ②工程分析表作成(シャツブラウス基礎)
 ③工程分析表作成(シャツブラウス応用)

VI. 製造品質と標準化 (2コマ)

①アパレル製品の品質とは
 ②標準化への取り組み

VII. 製造原価 (1コマ)

①価格と原価の関係、原価計算演習

VIII. 貿易と海外生産の概要 (1コマ)

①海外生産の現状
 ②海外生産におけるキャッシュフロー

評価方法・対象・比重
 筆記試験(60%)・提出物(20%)・出欠席(20%)にて評価

主要教材図書
 文化ファッション大系 アパレル生産講座⑦アパレル生産管理

参考図書 なし

その他資料 適宜プリント配布

記載者氏名 井戸川 倫也

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11901	科名 服飾研究科	単 位	1 単位
科目コード 910300	科目名 選択科目 服飾手芸	授業期間	後期 (半期)

担当教員(代表) : 久保田桂子	共同担当者 : 毎熊 舞
------------------	--------------

概要
 服飾手芸全般における装飾技法の基礎知識及び技術を身に付け、様々な素材の扱い方からテクニック・色・技術の組み合わせによってクリエイティブな力を養うことを目標とする。

1. 手芸一般知識(0.5)
 手芸の変遷や技術の種類などを理解させる
2. レース表現 マクラメレース 基礎作品1点制作 (2.5)
 結び表現のみで効果を出すマクラメレースの基礎テクニックを理解し、応用発展できるようにする
3. 加飾美表現 エンブroidアリー基礎 基礎刺し1点 (6)
 エンブroidアリーの基礎テクニックを習得させる
4. レリーフ・ライク表現 スモッキング・ピンキング・シャーリング 基礎刺し製作2点 (3)
 一枚の布を縫い縮めて変化させて装飾効果を表現するテクニックを習得させる
4. 装飾造形表現 アートフラワー 作品製作2点 (3)
 アートフラワーの基本的な知識を用いて服のデザインポイントになる装飾効果とテクニックを習得させる。

評価方法・対象・比重
 S～C・F評価
 評価基準：学業評価80% 授業姿勢20%

主要教材図書
 教科書：文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧手芸 文化服装学院編 文化出版局

参考図書

その他資料

記載者氏名 久保田桂子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11901	科名 服飾研究科	単 位	1 単位
科目コード 911400	科目名 選択科目 CAD基礎	授業期間	後期()

担当教員(代表) : 井戸川 倫也	共同担当者 :
-------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 アパレル産業における設計プロセスを認識し、アパレルCADを利用した設計方法に対する理解を深めることを目標とする。平面作図に始まり、パターン展開、マーキングと流れ、作成したデータを活用しレポート作成をおこなう。基礎的部分の履修ではあるが、最小限の機能を活用し、最大の効果が得られるレベル設定とする。
 受講条件は、服飾専攻科 技術専攻とオートクチュール専攻の進学希望者以外とする。

授業概要

- I. ガイダンス (1コマ)
- II. CAD基本操作 (4コマ)
 - ①. 原型作図(直線作成、曲線作成、移動、コピー、不要線の削除 等)
 - ②. シャツ(線の引き直し、ノブ・ノード調整、ボタン作成、地の目作成 等)
- III. CAD応用操作 (2コマ)
 - ①. スカート(タイトスカート→フレアスカート)
 - ②. スカート(パーツ化、パーツ情報の設定、縫い代つけ、等)
- IV. 理解度確認テスト (1コマ)
- V. パターン入力 (1コマ)
 - ①. スキャナ使用方法
 - ②. パターントレース、パターン修正
- VI. 工業用パターン作成 (2コマ)
 - ①. 前身頃⇒前見返し、裏衿⇒表衿
 - ②. ジャケット(パーツ化、パーツ情報の設定、縫い代つけ、等)
- VII. マーキング (1コマ)
 - ①. マーキング準備(簡易収集、諸条件設定)
 - ②. マーキング実行(型入れ、歩留算出)
- VIII. 資料作成 (3コマ)
 - ①. レポート作成(平面作図)
 - ②. レポート作成(縫い代つきパターンメイキング、マーキング)
 - ③. レポート仕上げ

評価方法・対象・比重
 出欠席(40%) + 提出データ(30%) + 小テスト<実技>(30%)

主要教材図書
 なし

参考図書
 なし

その他資料
 適宜プリント配布

記載者氏名 井戸川 倫也

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` 11901	科名 服飾研究科	単 位	1 単位
科目コード` 980010	科目名 特別講義 I	授業期間	通年 ()

担当教員(代表) : 玉田 恵美子

共同担当者 : 尾花 京子

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

就職に関する講義や広い視野におけるファッション産業界の知識、また服装造形分野での特殊素材に関する知識や製作技術などを、それぞれの専門分野の講師による解説・指導により将来に役立てる。

- | | | |
|----------------|---------|----------------------|
| 1. ワコール下着セミナー | 1コマ(前期) | 下着の一般知識 |
| 2. 就職対策 | 1コマ(前期) | 履歴書・エントリーシートのかき方 |
| 3. 就職対策 | 1コマ(前期) | 模擬面接 |
| 4. ファッション業界の仕事 | 1コマ(前期) | 服飾研究科卒業生によるディスカッション |
| 5. ファッション業界の仕事 | 1コマ(前期) | 編集の仕事について |
| 6. 研修旅行 予備講話 | 1コマ(前期) | 歴史背景・建造物・仏像解説 |
| 7. ファッション情報 | 1コマ(前期) | トレンド解説 |
| 8. デザイナーの仕事 | 1コマ(前期) | 仕事内容・実務解説 |
| 9. 皮革の一般知識 | 1コマ(後期) | 皮革一般知識 |
| 10. 裏地の知識 | 1コマ(後期) | ベンベルグ裏地ミュージアム見学 |
| 11. 卒業生から後輩へ | 1コマ(後期) | ファッション業界の仕事・パタンナーの仕事 |
| 12. 毛皮の一般知識 | 1コマ(後期) | 毛皮一般知識 |
| 13. 流行色解説 | 1コマ(後期) | 2019/2020 カラー予測 |
| 14. ニットの一般知識 | 2コマ(後期) | ニットの商品知識 |

評価方法・対象・比重

出欠状況・感想文

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 プリント

記載者氏名 玉田 恵美子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` 11901	科名 服飾研究科	単 位	1単位
科目コード` 930010	科目名 校外研修 I	授業期間	通年 ()

担当教員(代表) : 玉田 恵美子

共同担当者 : 尾花 京子

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

文化的な知識・教養および感性を高めるために、古美術研修旅行、美術展見学・伝統芸能鑑賞などによって視野を広め、またクラス内の親睦・融和と人間性を高める。

1. 展覧会・美術展見学

2. 能鑑賞

3. 歌舞伎鑑賞

4. 研修旅行 (京都・奈良 2泊3日)

1日目 東京 —名古屋—室生寺 —興福寺国宝館— ホテル(奈良)

2日目 ホテル —東大寺(南大門・大仏殿・戒壇院・二月堂・三月堂)—法隆寺・中宮寺—浄瑠璃寺
— ホテル(京都)

3日目 ホテル —川島織物セルコン —東寺— 京都市内—東京

評価方法・対象・比重
出欠状況

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 プリント・パンフレット

記載者氏名 玉田 恵美子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	11901	科名	服飾研究科	単位	4 単位
科目コード	970000	科目名	卒業研究・創作	授業期間	後期

担当教員(代表) : 玉田 恵美子

共同担当者 : 尾花 京子

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

- ・一年間で習得した知識・技術の集大成として、フォーマルウェアからニューフォーマルウェアまで個性を活かした作品を製作させる。併せてTPOをふまえたコーディネートも研究させる。

卒業制作 60コマ (後期) 実物製作・レポート製作・卒業製作ショー(準備も含む)

評価方法・対象・比重

製作物のデザイン表現・創作力・技術力・パターンメイキングの理解度・コーディネート表現力・レポート構成力

主要教材図書

文化ファッション大系 服飾造形講座 ⑤コート・ケープ ⑥服飾造形応用編 I (高級素材)

参考図書 gap COLLECTIONS

その他資料 実物標本・参考標本・部分標本

記載者氏名 玉田 恵美子